

令和5年度第2回外来医療計画策定検討会議 議事概要

- 1 日時：令和5年11月14日（火）13：30～14：00
- 2 開催方法：Zoom ミーティング
- 3 出席者：馬岡委員（座長）、志田委員、竹郷委員、田中委員、野村委員、濱田委員
- 4 議題
 - 1 次期外来医療計画の策定について
 - (1) 外来医療計画の概要および次期計画の基本的な考え方について
 - (2) 外来医療機能の偏在、不足する医療機能への対応について
 - (3) 医療機器の効率的な活用について
 - (4) 地域の外来医療提供体制の状況について
 - 2 その他
- 5 内容
 - 1 第8次（前期）三重県外来医療計画（中間案）について（資料1）
 - <事務局から説明>
 - 第8次（前期）三重県外来医療計画（中間案）について、外来医療計画の基本的な事項や今後充実させることが必要となる外来医療機能の確保について説明。
 - <主な質疑>
 - なし
 - <事務局から説明>
 - 第8次（前期）三重県外来医療計画（中間案）における、医療機器の効率的な活用や地域の外来医療提供体制の状況、策定後の取組について説明。
 - <主な質疑>
 - 26ページの（3）のについて、新規に開業される方が、CT、MRI等を購入したいということであれば、新規購入者に不利益を与えないよう十分な配慮を行うこととしますと書いてある。共同利用を行わないとしても、購入を認めるのか。
 - ⇒ 共同利用計画書の提出については、共同利用を行わないからといって購入を規制するものではない。
 - 不利益はないということだったが、共同利用をしない場合にも、報告をしないといけないのか。
 - ⇒ 報告については、共同利用をしない場合も必要である。
 - クリニックについても同じか。
 - ⇒ クリニックについても同様である。
 - 医療機器の稼働状況の報告について、新しく始まるということか。
 - ⇒ 令和5年4月以降に購入した対象の医療機器について、開始する予定をしている。できる限り不利益にならない、手間にならないようなかたちで行っていきたいという方向性を、前回の会議で議論いただき、地域医療構想調整会議等においてもご報告させていただいている
 - 17ページの「在宅医療の提供体制」の目標について、まだ決まっていないとの

ことだが、次回の会議ではおそらく最終案の検討をすると思う。どのような予定で決めていくことを考えているのか。

⇒ 三重県在宅医療推進懇話会において、第8次三重県医療計画の目標値等を10月に諮らせていただき、在宅医療の質の評価、評価する客観的な指標設定の難しさ、また、構想区域ごとの整備状況に違いがある中で、考え方を含めて整理をした方がいいのではというご意見をいただき、懇話会を年明けにもう一度行う予定をしている。そこで、在宅医療関係の目標を整理いただき、「在宅医療の提供体制」について、検討会議で諮りたいと思っている。

○ 救急医療について、診療所が時間外の90%を担っているとする部分だが、診療所の中には応急診療所は含まれているのか。

⇒ 応急診療所は含まれている。

○ 応急診療所が担当している部分はどれくらいか。この診察時間外というものが、診療所で行われてるのか、いわゆる準夜帯のものなのか、深夜帯がどうなってるのかが、大事なことじゃないかと思う。深夜帯で受けるのは、これからかなりしんどくなるかと思う。

⇒ 本来であればこの数字を噛み砕き、どういうところが受けているか、診療所の先生が時間外にしているのか、応急診療所が賄っているのかなどを確認しないとイケない。応急診療所では、業務にあたるドクターのローテーションが厳しいという話を聞くので、外来医療計画がメインとなると思うが、救急も含めての課題として認識はしている。救急医療情報センターの目標値だが、一次救急も適切な使用があるか難しいところがある。おっしゃられた問題意識を認識した上で、救急医療も含め、考えていかないとイケないと思っている。どこまでデータがとれるか、少し調べさせてほしい。

○ 三重県在宅医療推進懇話会で議論したように、在宅医療は、目標値の設定が難しい。在宅医療の質をどのように表した目標値にするかということで、2月に各医師会の会長のところへ回り、目標値のことも含め、積極的な役割を担う医療機関に関する調査をする。その結果をアンケートを含め、見せてからということになると思う。

2 その他（資料2）

<事務局より説明>

○ 今後のスケジュール（案）の説明。

<主な質疑>

なし